※令和４年度以降入学生用

学校番号	220

令和５年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術２　（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身近にあるものや、季節を通して個々の感性を磨いていきます。美術制作を始めるにおいての基本的な指導を通して、個々の制作の幅を広げていきます。また、既製品として生活にあるものに着目してデザインの感性も培っていきましょう。
・美術の歴史に対する知見を深め、美術分野に触れていきましょう。
・「鑑賞の時間」を通して、自己又は他人の作品から、表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
基本制作技法を発展させて独自の制作スタイルを作っていく。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 基本的、創作技術を習得、理解し、各課題に生かすことができている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を決定し、創造的な表現の構想を練っている。 各課題のテーマに自己の理解を通して制作に繋げることができている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎講座	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 c:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	ワークシート	ワークシート	制作の様子 ワークシート
	平面構成	【絵画・彫刻】 ・基本的技法 ・平面構成画 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	a:一点透視図法などの基本的技法を身につけることができている。 b:画面の構成を考えて配置など、表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	作品	作品	作品 レポート
	プロダクトデザイン構成	【デザイン】【鑑賞】 ・既製品のレタリングの鑑賞 ・アイデアスケッチ レタリングの基礎練習を踏まえ、どのような文字配列にするか考える。 ・制作 アクリル絵の具や色鉛筆、その他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取組もうとしている。 b:アピールするデザインの目的、機能、美しさを考慮し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、理解を深めている	ワークシート	作品	作品 ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	友達(身近な人)の顔の彫刻	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・デッサン ・制作 石粉粘土で成形し、乾燥後削るなどして細部を作る。 アクリル絵の具で着彩する。 ・相互鑑賞	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。粘土やアクリル絵の具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 c:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	作品 ワークシート	作品	レポート
	アニメーション作品	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・アピールしたいテーマでアイデアスケッチ等を作成する。 ・計画を立てカメラで撮影をする。 ・コンピューターで編集を行う。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション	a:目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取組もうとしている。 b:映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を決定し、視点や動画など視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。カメラやコンピューターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d:映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	ワークシート	作品	作品 ワークシート レポート
3学期	立体表現	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・空間構成を理解し、主題を決定する。	a:テーマを基に素材の特性を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取組	作品	作品	作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、考えたことから主題を決定し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 c:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度